

企画展

小さなしあわせ

大きな木は

いつも見上げられ

風は強く当り

雷はあちる

小さな木は

やわらかな風

小さな実をつけ

小さなしあわせ



2024年

9月3日(火) - 12月1日(日)

開館時間：午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)

休館日：会期中無休。会期後の12月2日(月)は展示替えによる臨時休館となります。

※休館日は都合により変更になることがあります。

入館料：大人520円、小中学生310円、幼児無料 ※団体20名以上2割引、

障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名5割引

主催：富弘美術館

協力：いのちのことば社、偕成社、Gakken、グロリア・アーツ

後援：上毛新聞社、桐生タイムス社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、

東京新聞前橋支局、時事通信社前橋支局、共同通信社前橋支局、FM GUNMA、群馬テレビ

富弘美術館
Tomihiko Art Museum

やさしさにいつでも逢える

小さなしあわせ

事故により手足の自由を失い、今まで当たり前だった日常が、突然大きく変わった富弘さん。深い絶望の淵に立たされながらも、口に筆をくわえて詩画をかくようになり、詩画作家としての新たな日常を過ごすことになりました。

そんな富弘さんが野に生きる草花を描いた詩画は、私たちが何気なく過ごす日々の生活にこそ、かけがえのないものがあると語りかけています。たとえば、笑顔であいさつを交わせたこと、風で折れたひまわりを花瓶に生けてもらったこと、ふくろうのぬいぐるみを棚から下してもらったこと。普段は気付かないような、ささやかな日常、ふとした出来事。当たり前を過ごす1日の、そんな些細なことこそ、私たちが本当に大切にしたい「しあわせ」が隠れているのかもしれません。

本展では、草花を通してささやかな喜びを見つめる作品やエッセイを紹介します。ぜひ、ご覧ください。



「キダチペコニア」(1985年)



「日日草」(1985年)



「朝ご飯」(2015年)

● 同時開催 秋の展示

初期作品から新作までの作品をテーマごとに展示します。

交通案内

- 北関東自動車道 太田藪塚I.C.から55分
- 関越自動車道 赤城I.C.から1時間20分
- 日光宇都宮道路 清滝I.C.から40分
- わたらせ渓谷鐵道 神戸駅下車、市営バスで10分



富弘美術館
Tomihiro Art Museum
やさしさにいつでも逢える

プロフィール Profile



ほしの とみひろ
星野 富弘

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文字や絵をかきはじめる。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年、故郷の東村に富弘美術館開館。2024年4月逝去。著書多数。

開催中のイベント

【花を用いて小物をつくろう】(要入館料)

9/14(土) ①午後1時30分～ ②午後2時30分～

【さくまひできコンサート】(要入館料)

9/21(土) 午後1時30分～
演奏: さくまひでき

【定期朗読会】(要入館料)

9/28(土)・10/26(土)・11/23(土) ①午前11時30分～ ②午後0時30分～
朗読: 泉の会

【季節の朗読会】(要入館料)

10/5(土)・11/30(土) ①午前11時30分～ ②午後1時30分～
朗読: Lively

【ギャラリートーク】(要入館料)

10/12(土)・11/9(土) 午後2時～ 約20分間
当館学芸員

【折り紙教室・缶バッジづくり】(要入館料)

10/19(土)・11/16(土) 午後1時30分～午後3時30分

【鈴の鳴る道を歩こう】(要予約)

11/23(土・祝) 午後1時～(約2時間) 神戸駅集合
案内: サポーター

● 次回展覧会のご案内

第12回富弘美術館 詩画の公募展
特集展示「星野富弘が描く椿」
会期: 12月3日(火)～2025年2月23日(日)

〒376-0302 群馬県みどり市東町草木86
TEL: 0277-95-6333 FAX: 0277-95-6100
E-mail: info@tomihiro.jp
URL: <http://www.city.midori.gunma.jp/tomihiro/>

美術館ホームページ

